

プログラム		総合司会:岡山県医師会 会計担当理事 佐藤 正浩 座長:岡山大学 名誉教授・特命教授／岡山県糖尿病対策専門会議 会長 四方 賢一 岡山済生会総合病院 糖尿病センター長 中塔 辰明
10:00～10:15	開会挨拶	岡山県医師会 会長 松山 正春 岡山県保健医療部健康推進課 課長 北村 幸治 川崎医科大学 名誉教授／岡山県糖尿病対策推進会議 会長 加米 浩平
10:15～10:45	講演 1	「令和7年度改訂岡山方式の変更点および アウトカム集計結果報告」 岡山大学病院 糖尿病センター 助教 和田 嵩平
10:45～11:05	講演 2	「糖尿病性腎症を持つ人の心理と必要なケア」 心臓病センター榊原病院 保健師・糖尿病看護認定看護師 吉沢 祐子
11:05～11:15	休憩	
11:15～12:00	講演 3	「腎障害進行抑制を見据えた糖尿病治療戦略」 東海大学 腎内分泌代謝内科学 教授 豊田 雅夫
12:00～12:20	質疑応答	
12:20～12:25	閉会挨拶	岡山大学 名誉教授・特命教授／岡山県糖尿病対策専門会議 会長 四方 賢一

MEMO

令和7年度岡山県糖尿病性腎症重症化予防シンポジウム

糖尿病性腎症の 克服を目指して

岡山県国保ヘルスアップ支援事業

日時

令和8年1月25日[日]
10:00▶12:25

形式

ハイブリッド開催 (Web+会場)
会場:岡山県医師会館
(岡山市北区駅元町19-2)

単位

岡山県医師会生涯教育講座1単位(CC:76)、
JADEC(日本糖尿病協会)糖尿病認定医取得のための講習会2単位、
おかやま糖尿病サポーター更新研修会B

主催:岡山県糖尿病対策専門会議、岡山県 共催:公益社団法人岡山県医師会、岡山県糖尿病対策推進会議

ごあいさつ

岡山県保健医療部 部長 辰巳 秀爾

糖尿病の合併症の1つである糖尿病性腎症は、個人の生活の質への影響と医療経済への影響等が大きいことから、重症化予防を図ることが非常に重要です。

そのため、岡山県では、平成29年度から「岡山県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、このプログラムに基づく糖尿病性腎症の重症化予防の取組を推進しております。

本日は、その取組の一環として、医療や保健指導等に携わる皆様にお集まりいただき、「糖尿病性腎症の克服を目指して」をテーマにシンポジウムを開催するものであります。このシンポジウムを通じて糖尿病に関する理解を一層深め、今後の皆様の活動にお役立ていただけると幸いです。

最後になりましたが、御講演を快諾いただきました先生方に、厚くお礼を申し上げますとともに、皆様方にとって意義深いシンポジウムとなることを祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



岡山県医師会 会長
松山 正春



岡山県医師会 会計担当理事
佐藤 正浩



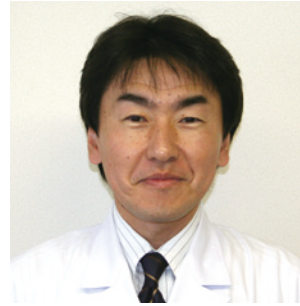
岡山県保健医療部 部長
辰巳 秀爾



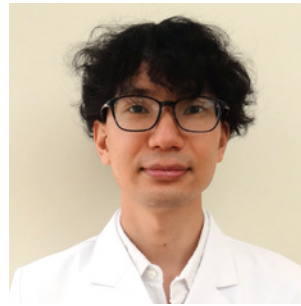
川崎医科大学 名誉教授／
岡山県糖尿病対策推進会議 会長
加来 浩平



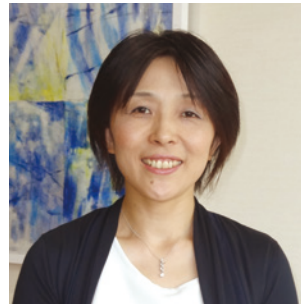
岡山大学 名誉教授・特命教授／
岡山県糖尿病対策専門会議 会長
四方 賢一



岡山済生会総合病院 糖尿病センター長
中塔 辰明



岡山大学病院 糖尿病センター 助教
和田 嵩平



心臓病センター榊原病院 保健師・糖尿病看護認定看護師
吉沢 祐子



東海大学 腎内分泌代謝内科学 教授
豊田 雅夫

令和7年度改訂岡山方式の変更点および アウトカム集計結果報告

岡山大学病院 糖尿病センター 助教 和田 嵩平

略歴 平成24年鳥取大学医学部卒業。佐久総合病院、岡山家庭医療センターで研修後、岡山大学病院腎・免疫・内分泌代謝内科に入局。令和3年より現職。

岡山県では、平成30年に「糖尿病性腎症重症化予防プログラム（岡山方式）」を策定しました。また令和2年より岡山県国民健康保険団体連合会と連携し、KBDやレセプト情報を用いたアウトカム評価を行っています。令和6年3月に国の糖尿病性腎症重症化予防プログラムが改定されたことを受け、令和7年3月に岡山方式の改訂版を公開しました。本会では、変更点とこれまでに蓄積してきた集計結果について報告します。

糖尿病性腎症を持つ人の心理と必要なケア

心臓病センター榊原病院 保健師・糖尿病看護認定看護師 吉沢 祐子

略歴 平成6年国立岡山病院附属看護学校、平成7年岡山県立公衆衛生看護学校卒業、心臓病センター榊原病院入職。平成24年日本糖尿病看護協会認定看護分野糖尿病看護認定看護師に認定、現在に至る。

糖尿病性腎症は病期の身体的特徴に合わせた血糖管理、血圧管理、食事の注意点、活動量など方針が違います。糖尿病性腎症をもつ人に、病期に応じた知識や注意点を伝えたものの、行動変容につながらなかった経験はありませんか。その人が行動を起こすには、その人の糖尿病との歩みや経験と同時に今に至る心理的特徴を理解して支援することが大切です。糖尿病性腎症をもつ人の心理について考え、相手理解を深めることにつながればと思います。

腎障害進行抑制を見据えた糖尿病治療戦略

東海大学 腎内分泌代謝内科学 教授 豊田 雅夫

略歴 平成8年東海大学医学部医学科卒業。東海大学医学部腎内分泌代謝内科入局。令和7年より現職。

糖尿病性腎症の重症化予防には、早期診断と包括的管理が不可欠ですが、特に微量アルブミン尿は腎症発症の最も早期の診断指標であり、心血管疾患を含む全身リスクの予測因子としても重要です。本講演では、微量アルブミン尿測定啓発の必要性、SGLT2阻害薬やGLP-1受容体作動薬などを用いた最新治療戦略、さらに医師・メディカルスタッフ・行政が連携して取り組む地域全体での重症化予防についてみなさんと一緒に考えます。